

### 第5次総合計画に掲げるまちづくり

#### 「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成

## 推 進

### 効果的・効率的な行政経営

目的

第4次行政改革の成果・課題等

#### ■第4次行政改革の主な成果

- 多様な主体によるまちづくり活動の活性化
- 指定管理者制度をはじめとする民間のノウハウを活用したサービスの向上
- 4年間で約80億円の財源を生み出し総合計画に掲げる都市像の実現に向けた施策・事業に優先的・重点的に配分

⇒4次大綱の基本目標をおおむね達成

#### ■社会経済環境の変化

- 少子・高齢化の進行，人口減少社会の到来
- ライフスタイルの多様化や家族，地域の変容
- 地方分権改革の進展
- 公共施設の老朽化
- 行政改革の取組の進展

#### ■今後求められる主な取組

- わかりやすく効果的な情報発信
- 新たな分野や視点による民間活力の活用
- 資源配分の最適化や自主財源の確保，内部努力のさらなる徹底
- 事務処理の適正化・効率化
- 知識・技術の継承や職員の能力向上
- 市民参画のより一層の深化
- 公共施設の老朽化への対応
- 効率的な執行体制の確立など

#### ■今後の行政改革の課題

- 第4次行政改革の考え方，方向性をより一層発展・深化させていくことが必要
- 人口減少や少子・超高齢化に伴う行政サービスの需要や財政環境の変化，市自らの内部変化等に的確に対応した行政経営に転換していくことが必要

## 5年間の基本目標

基本的な考え方

- 「住民の福祉の増進」に向けた「市民重視の行政経営」を基本として，将来の人口規模・構造や都市活動に対応した都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を見据えながら，これまでの4次にわたる行政改革で継続的に取り組んできた「市民と共に進めるまちづくり」と「経営資源の選択と集中」をより一層推進
- 特に，本市の人材，資金，施設などのさらなる有効活用に取り組むことに加え，民間も含めた「うつのみやの持つ社会資源全体」を視野に入れ，それらが相互に交流し連携し合うネットワークの「核」としての役割を本市が担い，うつのみやの持続的な発展に向け，市民と行政が共に理解・納得した上で，改革の「努力」も「成果」も分かち合いながら，取組を推進
- これらの取組により，時代に対応した行政サービスへの再構築と，それらを支える財政基盤，執行体制の構築を推進

※下線は，第3回懇談会（平成26年10月9日）を踏まえた変更点

【5年間の基本目標】

### 将来を見据えた最適な行政サービスの確立

～人や地域，活動をつなぐ「ネットワーク」で築く，よいよサービス～

### 実現に向けた方向性

方向性

**よいよサービス**  
～市民満足のさらなる向上～

**みんなでまちづくり**  
～共に創る「共創」のさらなる推進～

**健全で活力ある市役所**  
～強く，しなやかな財政基盤と執行体制の確立～

### 具 体 化

柱

#### 事務事業の継続的改善

- ICTのさらなる活用
- 「社会保障・税番号制度」の活用
- 既存事業の徹底した見直し
- .....

#### 市民活力の最大化

- 地域主体のまちづくりのさらなる推進
- 専門性を有する外部の人材の活用
- 外部委託の推進
- .....

#### 行政経営基盤の強化

- 市税等の収納対策の推進
- 職員の人材育成・活性化
- 職員数・給与水準（総人件費）の適正化
- .....

#### 公有財産の適正管理（マネジメント）の推進

- 公有財産の効果的な利活用の推進
- 公共施設等の長寿命化の推進
- 公共施設の整備等における民間活力の活用
- .....

※4つの改革の「柱」（仮）は，「具体的な取組」を検討する中で，必要に応じて再構成

具体的な取組